

測量データからスピーディに3Dモデルを作って、住民等関係者にわかりやすく道路整備の完成イメージを伝えたい！

課題



- 道路整備（新設・拡幅）を行う際、現況の地盤高と道路の高さが異なる場合が多く、完成イメージを住民の皆様を持って頂くことが難しい。
- 測量データや設計図書から3Dの完成イメージを作成して、住民の皆様等関係者への説明に活用したい。

背景

【任意の場所で現況と計画の比較が容易にできる3D完成イメージの作成】

- 所有してる二次元データから、3Dモデル化やイメージパース、模型等の製作作業を行うが、それらの完成までに時間がかかる。
さらに、イメージパースは、事業区域内の任意の場所における完成像を示すことができない。



- 現況の3Dデータと重ね合わせることで、道路の完成イメージのみならず、完成した道路とそれに接する敷地や道路等との高低差を容易にイメージできるようにしたい。
- 将来的な完成イメージを共有することで、道路整備やそれに付随する高低差処理などの分かり易い説明に繋げたい。
また、あわせて、地下埋設データを含めて3D化を進め、関係者協議を円滑に行えるようにしたい。

現場からのコメント



道路工事の設計は、別途発注する受託者が実施します

現場情報

※ 現場への直接のご連絡は行わないでください。

建設局総務部企画課

局事業の企画調整、DXの推進や効率化、スピードアップ等の調整など